

# SDGsに関するハイレベル政治フォーラムサイドイベント(2020.7)【結果概要】

持続可能な開発目標(SDGs)に関するハイレベル政治フォーラムサイドイベントが7月にテレビ会議で開催され、日本から流域管理とSDGs達成の貢献について説明し、その取組みの重要性を訴えた。

- 1. 背景・目的 「SDGsに関するハイレベル政治フォーラム」は、SDGs等のフォローアップとレビューを行う閣僚級の会議で毎年開催。この開催期間には多数のサイドイベントが開かれ、日本から流域管理とSDGs達成の貢献についてハイレベル向けと教育・実践者向けに提案し、それぞれ開催が認められたもの。
- 2. 日程・方法 2020/7/7(火)(ハイレベル向け) 、7/9(木)(教育・実践者向け) いずれもオンライン
- 3. 参加者 (7/7) 赤羽国交大臣、ハン元韓国首相、ナザルゾダ・タジキスタン緊急事態委員長、ボグヤイ・ハンガリー国連大使、水鳥・国連防災機関特別代表、沖・国連大学上級副学長、他  
(7/9) シンケヴィチュウス欧州委員、サックス・コロンビア大学地球研究所長・国連事務総長顧問、ジュハラヤ・インドネシア公共事業・国民住宅省水資源局長、アグボガ・ガーナNGO代表 他

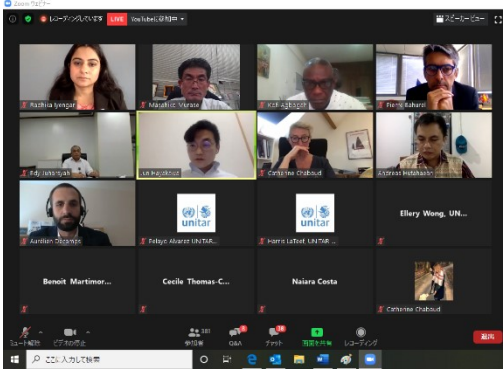
赤羽大臣によるビデオメッセージ(7日)



会議の様子(7日Webex)



会議の様子(9日Zoom)



- ✓ 7日のイベントでは、赤羽大臣は開会挨拶において、日本政府を代表し、流域のあらゆる関係者が協働し治水を進める「流域治水」や新型コロナウイルス感染症禍における水災害リスク低減を通じ、SDGsの達成に貢献していくことをビデオスピーチを通じ発信。
- ✓ 9日のイベントでは担当者から流域治水の具体的な施策を紹介し、SDGs達成に向けた推進方策を議論。

※ <https://youtu.be/VYaeqD0IngY> (7日) <https://youtu.be/gf0qnaWLR7M> (9日)